

遠隔時代の手話通訳

講座概要

現在、ICTの進化に伴い、電話リレーサービスや遠隔手話通訳サービスが普及しつつあります。これは聾者にとって大きな利便性をもたらすと同時に、手話通訳を巡る制度や養成のあり方に見直しを迫る側面も持っています。

本講座は、手話通訳者をはじめ、聴覚障害児者の教育・支援に関わる方が、遠隔手話通訳を巡る諸課題について理解を深められるように3つの講義を厳選しています。本講義は、eラーニングの形態で実施します。受講申込みは、6月～11月の随時受付。受講期間は3ヶ月ありますので、ご自身のお仕事等の都合に合わせて学習に取り組んでいただけます。

※手話通訳者および聴覚障害児者の教育・支援に関わる方が対象となります。学生は無料です。講義動画は、音声または手話に字幕がついています。

実施責任者：共同教育学部 特別支援教育講座 教授 金澤貴之

日程	講義内容	講師
6月3日(月)～11月29日(金) 随時受付 eラーニングシステム登録後 3ヶ月間受講可能	第1回：「遠隔手話通訳」とは？	群馬大学共同教育学部 教授・金澤貴之
	第2回：手話通訳に関わる資格制度の再考	
	第3回：これから求められる研修・養成のあり方	